



車いす寄贈報告

2019年度、皆様からのプルトップ収集によるご支援により、
タイ・インドネシアで車いすを寄贈する事ができましたのでご報告申し上げます。



2019年度プルトップ収集報告

- プルトップ収集量 : 875kg
- 換金額 : ￥55,081
- 使途 : 子ども用車いす購入費



ご支援いただきありがとうございます。

2020年4月

認定 NPO 法人アジア車いす交流センター(WAFCA:ワフカ)

車いすを受け取った子どもたち



テンクーン君 (10歳、タイ・スリン県)

テンクーン君は、お父さん、おじいさん、おばあさん、8歳の弟と一緒に暮らしています。お母さんは7年前に離婚し、家を出ていきました。お父さんは家具作り職人として生計を立て、子どもたちを育てています。テンクーン君は生後8か月のとき高熱を出し、すぐに病院に行きましたが、脳に麻痺が残ってしまいました。話すことや咀嚼ができないため食事はおかゆのみで、日常生活のすべてにおいて介助が必要です。

10歳になる現在まで、一度も車いすを使ったことがなく、今回 WAFCA から提供した車いすは彼にとって生まれて初めての車いすです。この車いすで、まずは特殊教育センターの職員のサポートを得ながら、座る訓練、つまり座ったまま食事をしたり、テレビを見たり、日常生活訓練をする予定です。



アンディカ君 (22歳、インドネシア・ジャカルタ)

「僕は5歳の時に結核性脊椎炎（脊椎カリエス）という病気を患い、それから歩くことができません。

これまでつらいことや大変なことはたくさんありましたが、その悔しさをバネに、一生懸命勉強をしてきました。

その努力の結果、今は奨学金を得て大学に通っています。

僕は今年 WAFCA から新しい車いすをもらいました。

これまで使用していた車いすは古く、すでに身体に合っていなかったため、これで移動のストレスを感じずに快適に過ごすことができるととても嬉しいです。

この車いすと共に、これからまた新しいことにチャレンジしていきたいと思っています。日本の皆さんご支援ありがとうございました。」

皆さまのご支援、ありがとうございました！

